

Out of KidZania ロボットに関する仕事体験 概要資料

World Robot Summit 2025(WRS2025) サイドイベント「あいちロボフェス」

あいちロボフェス

日程：12月12^金日→14^日
場所：Aichi Sky Expo
主催：愛知県

子どもたちに対し、最新のロボットたちが繰り広げる近未来の姿を紹介し、体験してもらうことでロボットへの興味を育みます。



ステージイベント

ロボットを体感できるエンタメショー、講演会、参加型プログラム等を実施

メイン 企画



ロボットデモンストレーションゾーン

「ROBOTが支える未来の街」をコンセプトに、
ロボットが活躍する様子をデモンストレーション



学校向け見学ツアー

WRS2025の競技や含め
ガイド付きで見学
対象：県内小中高校



ロボット体験・展示ゾーン

ロボットの操縦やプログラミングを体験。最先端のロボットを展示。工業系高校・大学や企業のブースも設け、将来のエンジニアへの道筋を示す。



仕事体験ゾーン (Out of KidZania)

ロボットに関する仕事を、実際の企業の従業員から教わりながら体験(土日開催)

愛知県を『**ロボットを「作り」「使う」世界的な先進地**』とするため、World Robot Summit 2025の開催を
「ロボットの社会実装の加速」と
「次世代のロボット人材・モノづくり人材の創出」
の好機としたいと考えています。

今回出展者募集しているゾーンです

<イベント全体のイメージ>

土曜日：高校生ロボットシステムインテグレーション競技会
全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会
次世代バッテリー推進事業イベント
日曜日：高校生ロボットシステムインテグレーション競技会

 World Robot Summit 2025	高校生ロボットSリーグ	次世代バッテリー 推進事業イベント
	あいちロボフェス	 全国少年少女 チャレンジ創造コンテスト  はつめい キッズフェス 10月1日
ホールC (10,000㎡)	ホールD (10,000㎡)	ホールE (10,000㎡)



実行委員会に
愛知県も参画



競技概要

OSAKA

フューチャー コンビニエンスストア チャレンジ (FCSC)

ロボット技術により従業員の負担を軽減し、顧客に新たなサービスを提供する未来のコンビニエンスストアを実現することを目的とする競技です。

会場 大阪・関西万博内（大阪府）
主催：WRS実行委員会
共催：経済産業省

2025年7月
フューチャーコンビニエンスストアチャレンジ (FCSC)
OSAKA

7月13^日→19^日

FUKUSHIMA

過酷環境F-REI チャレンジ

- 過酷環境ドローンチャレンジ
- プラント災害チャレンジ
- シミュレーション災害チャレンジ
- 標準性能評価ドローンチャレンジ

大規模な災害による困難環境下で活躍するロボット・ドローンの開発や、プラント・トンネル災害の予防、災害時の対応のための技術開発を目的とする競技です。

会場 福島ロボットテストフィールド（福島県）
主催：福島国際研究教育機構 (F-REI)
共催：経済産業省

2025年10月
過酷環境F-REIチャレンジ
FUKUSHIMA

10月10^日→12^日

AICHI

モノづくりロボット チャレンジ

様々に変化する生産要求に迅速かつ無駄なくスリムに対応できる未来の生産システムを実現することを目的とする競技です。

会場 Aichi Sky Expo(愛知県)
主催：WRS実行委員会
共催：経済産業省

2025年12月
モノづくりロボットチャレンジ
AICHI

12月12^日→14^日

World Robot Summit（総称：WRS）では、**ロボットの競技会**と、**最新のロボット技術の展示**を介して、世界中のロボット関係者が一堂に集まり、リアルな日々の生活、社会、産業分野での**ロボットの社会実装と研究開発を加速させることを目的**とします。

参考：前回大会 World Robot Summit 2020の実績

前回大会であるWRS2020は、経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が主催であり、国主導で始まった取り組みです。
コロナ禍であったため、愛知大会は無観客での開催となりましたが、2018年のプレ大会では多数の来場者を集めました。

WRS2018
TOKYO
@東京ビッグサイト

プレ
大会

2018

WRS2018 TOKYO

会期：2018年10月17日（水）
～21日（日）
※Japan Robot Week 2018 と
同時開催

総来場者数：76,374人(4日間)

主催：経済産業省 / NEDO



愛知大会

福島大会

実施 競技	 ものづくり Industrial Robotics Category	 サービス Service Robotics Category	 ジュニア Junior Category	 インフラ・災害対応 Disaster Robotics Category
会場	Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）			福島ロボットテストフィールド
会期	2021年9月9日（木）～12日（日）			2021年10月8日（金）～10日（日）
来場/ 出場 チーム	14か国・地域 58チームが参加 ステージプログラム 12 ※コロナの影響により無観客開催 オンライン開催「WRS VIRTUAL」 PV数：758,790件、来場者数：66,945人			合計4,000名弱が来場 8か国・地域 29チームが参加 ステージプログラム 9



あいちロボフェス／「Out of KidZania」の概要

Out of KidZaniaとは

地域の企業がキッザニアの運営会社であるKCJ GROUP(株)監修の子ども向け仕事体験プログラムを実施し、体験した子どもたちが「働く」「稼ぐ」「消費する」の経済活動を学ぶイベント。

＜ゾーンコンセプト＞
「ロボットに関わる仕事」の
面白さ・魅力を知り、憧れを持ってもらう

出展の意義

自社の仕事内容を子どもたちに知ってもらう

- 
- 企業の認知度向上
 - 地元への社会貢献
 - 従業員のモチベーション向上

開催概要

ロボットメーカー、SIer、ロボットを利用したサービス企業が、子どもたちに対して、ロボットに関わる仕事の体験プログラムを提供。

日程	2025年12月13日(土)・14日(日) ※金曜日の開催なし
仕事体験の内容	ロボットに関する仕事 (例) ・ロボットシステムインテグレータの仕事 ・ロボットのメンテナンスの仕事 ・ロボットの組み立ての仕事 ・新しいロボットの企画の仕事 ・ロボットを売る仕事 ・ロボット周辺機器に関わる仕事 ・介護ロボットを使った介護の仕事 ・サービスロボットを使った仕事 など
仕事体験プログラム数	10～15
対象者	小中学生 ※体験内容によって年齢制限を設けることも可
実施所要時間・回数	約60分/回×1日4回(目安) ①10:10～11:10 ②12:30～13:30 ③14:00～15:00 ④15:30～16:30
1回あたりの参加人数	4～8人(目安) ※6人以上が望ましい

あいちロボフェス／「Out of KidZania」の概要

出展料

無料

県が負担する費用

原則負担しない。

なお、トラックをチャーターして輸送する必要がある大規模なロボットについて、輸送費の一部を負担することを検討している。当該ロボットの搬出入が想定される場合は、出展申込書の「その他」欄にその旨及び輸送費概算額を記載すること。

県が実施する事項

・基本装飾の施工

（県委託事業者が行う。（基本ブース設営、仕事体験の内容及び社名が記載された看板、電気、エア等の設備工事））

出展者が実施する事項

・KCJ GROUP株式会社が実施する研修（2回）への参加

・KCJ GROUP株式会社の監修の下、子どもたちに提供する仕事体験プログラムの内容を検討し、当日提供すること。

・出展者が独自に必要なとするものは、県委託事業者と調整の上、出展者の負担で実施すること。

・仕事体験プログラムを提供するときは、担当者を必ず1人以上配置し、子どもにロボットを体験させる場合等は、特に危険がないように配慮すること。

・広報に必要な写真・動画等の素材を提供すること。

・使用する道具や材料、コスチューム（必須ではなく、簡易的なもので構わない。）の準備をすること。

（例）制服（作業服）、帽子、ヘルメット、腕章、エプロン 等

その他

・材料費等が必要な場合は、参加者から徴収することが可能。

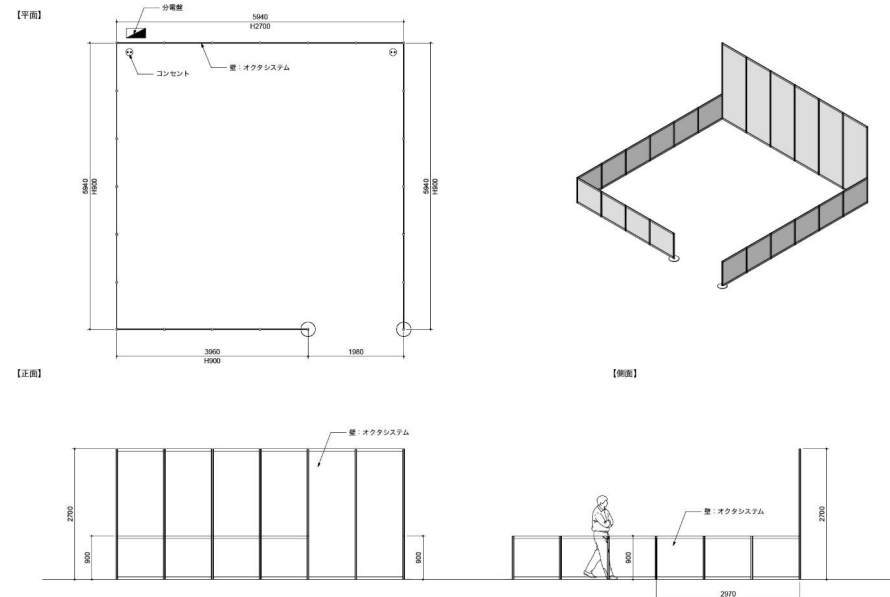
・上記に定めのない事項は愛知県及び受託事業者の協議により定めるものとする。

ブースイメージ

原則、6m×6m

※実施内容に応じて調整

長机、イス、仕事体験プログラムのタイトルの看板は備品として支給
その他は各社にて装飾



仕事体験の内容についての留意点

・仕事体験の内容については、具体的な内容は、KCJ GROUP(株)の監修の下決定していくことになるため、申し込み時点では、詳細な内容を求めるものではない。

・仕事体験の内容は、広くロボットに関連するものを対象とする。

スケジュール

時期	実施内容
5月	出展者募集（5/12～6/2）
6月	出展者決定（6月中下旬）
7月	プログラム研修の受講（オンライン） ①7/ 8（火）10：00～12：00 ②7/14（月）14：00～16：00 ※①②のどちらかに参加すること イベントに関する全体説明、体験プログラム製作の流れ説明、各出展事業者の作業内容説明等
8月	仕事体験プログラム作成・各種調整 ・自社でどのような仕事体験ができるかベースを考える。 ・その仕事体験案をもとに、KCJ GROUP(株)がヒアリングしつつ、プログラムを監修し、ガイドラインを作成する。 ・出展内容の詳細調整 ・必要備品等の調整 等
9月	
10月	
11月	運営研修の受講（対面） イベント当日の進め方の説明、参加者子どもとの接し方等の詳細な説明
12/11(木)	出展者設営
12/12(金)	
12/13(土)	開催（10：00～17：00 ※12/14のみ16：30）
12/14(日)	出展者撤去

キッズニアが仕事体験プログラムの作り方を
作成までをしつかり監修！
子どもたちへの接し方までレクチャー！